



# Global Growth for Dual-Use

デュアルユースコース | Course No. C212

## 募集要項

応募締め切り：2024年10月31日(木) 23:59 (JST)  
(オンライン説明会※1の申込みは[こちら](#))



※1 開催日時は、10月11日(金) 10:30AM-11:00AM JST、10月17日(木) 9:30AM-10:00AM JSTを予定しています

※募集-審査までの日程は延長する場合がございます。予めご了承ください

## INDEX

- 01 | コース概要
- 02 | プログラム構成
- 03 | スケジュール
- 04 | 対象者・応募要件
- 05 | 費用負担
- 06 | 選考プロセス・基準
- 07 | 応募方法
- 08 | 注意・免責事項
- 09 | 問合せ先

# 01 OUTLINE | コース概要



## 目的

米国およびインド太平洋地域のハブとなるハワイにて、デュアルユース技術※1を特徴としながら海外展開を狙うために必要な知識の習得や交渉スキルの向上、デュアルユースの専門家コミュニティとのリレーション構築を目指す

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 米国政府調達案件の受注に向けて必要な知識・交渉スキルの習得                                   |
| 2 | デュアルユースの専門家コミュニティや政府関係者とのリレーション構築による、米国およびインド太平洋地域における海外展開の準備促進 |

※1 民間および軍事（安全保障）の両方で活用できる技術

## 派遣先

米国・ハワイ

## 主な対象

対象企業	• デュアルユースとして米国やインド太平洋地域への海外展開を目指す日系スタートアップ企業
ステージ	• ミドル・レイター
分野	• デュアルユースの可能性のある全分野 昨年度の実績例：ドローン、繊維素材、宇宙衛星等
その他	• 海外展開における意思決定が可能な方（創業者・CXOクラス）がコースを通じて参加が可能なこと • ビジネスレベル以上の英語力を有すること

※渡航対象者等の応募条件の詳細は「04|対象者・応募要件」をご確認ください



### 1 国内プログラム



#### オリエンテーション・メンタリング (5-12社)

デュアルユースおよび米国やインド太平洋地域への海外展開に向けた基礎知識の理解を目的として、オリエンテーションや講義を実施  
現地における潜在顧客の把握を目的として、個別メンタリングを実施

### 2 渡航プログラム



#### ワークショップ・ネットワーキング ・デモデイ (5-12社)

米国政府調達案件の受注やインド太平洋地域における海外展開に向け、交渉スキル等に関するワークショップを実施  
商談機会を提供する場として、デュアルユースの専門家コミュニティや政府関係者に向けたデモデイおよびネットワーキングの開催

### 3 渡航後プログラム



#### フォローアップ (5-12社)

フォローアップメンタリングや個別連携サポートにより、渡航プログラム後に発生した課題やネクストアクションの整理およびその解決支援、新規商談先の紹介等のフォローアップを提供

### 1 国内プログラム | オリエンテーション・メンタリング

デュアルユースおよび米国やインド太平洋地域への海外展開に向けた基礎知識の理解を目的として、オリエンテーションや講義を実施するとともに、現地における潜在顧客の把握を目的として、個別メンタリング機会を提供

**定員** 5-12社（各社1名まで）

**日程** 2024年12月16日（月）～ 2024年12月20日（金）  
オンライン（一部面談は対面（東京）を予定）

#### 概要

##### • オリエンテーション

- コース紹介およびデュアルユースに関する講義
- 日本政府関係者によるデュアルユーススタートアップへの期待、インド太平洋地域の位置づけに関する意見交換
- 日米技術フォーラム議長や経済産業省航空機武器宇宙産業課との面談※1

##### • 個別メンタリング

- 参加企業のプロダクト詳細や差別化要因について、メンターとの間で相互理解を促進
- 現地プログラムにおける面談先特定に向けたヒアリング
- 潜在顧客との渡航前オンライン商談※2

※1 対面（東京）／12月19日または20日に訪問予定。必要に応じてスケジュール・プログラム内容について変更の可能性あり

※2 事前に紹介できる企業がある場合に限る

### 2 渡航プログラム | ワークショップ・ネットワーキング・デモデイ

米国政府調達案件の受注やインド太平洋地域における海外展開に向け、交渉スキル等に関するワークショップを実施  
商談機会を提供する場として、デュアルユースの専門家コミュニティや政府関係者に向けたデモデイおよびネットワーキングの開催

**定員** 5-12社（各社1名まで）

**日程** 2025年2月13日（木）～ 2025年2月28日（金）  
ハワイ（対面）

#### 概要

##### • ワークショップ

- 米国政府調達案件の受注に日本企業として参画するために必要なエコシステムステークホルダーの理解
- 米国政府調達案件の受注におけるコンプライアンスやビジネスカルチャーの違いに関する理解
- 安全保障関連事業に必要な知的財産や輸出管理ルールを理解

##### • ネットワーキング・デモデイ

- デュアルユースの専門家コミュニティや米国政府関係者とのリレーション構築
- 潜在顧客との面談
- デモデイの実施（PaCT Conference※）

※PaCT Conference（Partnerships for Climate Technology）：気候変動を含む自然災害とデュアルユースに対する課題、解決策、ネットワークの共有の場。昨年度は、政府関係者を含む175名のデュアルユースの専門家コミュニティ有力者が出席

### 3 渡航後プログラム | フォローアップ

フォローアップメンタリングや個別連携サポートにより、渡航プログラム後に発生した課題やネクストアクションの整理およびその解決支援、新規商談先の紹介等のフォローアップを提供

**定員** 5-12社（各社1名まで）

**日程** 2025年3月3日（月）～ 2025年3月21日（金）  
オンライン

#### 概要

- **フォローアップメンタリング**
  - 渡航プログラムにおける不明点や積み残し課題の確認およびその解決支援
  - 現地で面談したステークホルダーとのフォローアップ状況の確認および連携強化促進に向けた支援
- **個別連携サポート**
  - 参加企業とステークホルダーの個別引き合わせ
  - 参加企業に対する新規商談先の紹介

## 02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – メンターの紹介



Dennis  
Teranishi

主担当：米国-ハワイ-日本間連携

PICHTRの現所長兼CEO。AMFAC社で19年間務めた後、AMFAC Agribusiness社、North Shore Associates社、マカデミアナッツチョコレート最大の最大手メーカーであるHawaiian Host社でCEOを歴任。カリフォルニア州立工科大学で作物学の理学士号、ハワイ大学で土壌化学と植物栄養学の理学修士号を取得。米陸軍大尉として名誉除隊、2014年に日本政府より旭日小綬章を授章。



Ian Kitajima

主担当：技術-ビジネス開発

先端技術のイノベーション開発に30年以上の経験を持ち、内21年間は米国防総省のプロジェクトに従事。元ハワイ・デュアルユース・テクノロジー・グループの共同リーダー。Oceanitの企業開発担当ディレクターを21回以上務め、3社をスピノフシ、ナノテクノロジー、応用人工知能、サイバーセキュリティ等の分野に関与。教育と技術革新の思想的リーダーとしてハワイ内外で知られ、PICHTRおよびデザイン・シンキング・ハワイでイノベーションの成長を推進中。



Keith  
Matsumoto

主担当：技術-米国政府調達

デザイン・シンキング・ハワイの共同設立者およびPICHTRのプログラムディレクターで、非営利団体、技術開発、連邦契約管理等で30年以上の経験を保有。PICHTRでは、HTDV (Hawaii Technology Development Venture) プログラムの計画立案および5,000万ドル規模のプログラムでディレクターを務めた経験を有する他、ハワイ・デュアルユース・テクノロジー・グループを設立。近年は、ハワイおよびアジア太平洋地域の資源と環境の持続可能性の確保に注力。



Naoki Nagai

主担当：日本-米国間連携

アジア太平洋地域におけるイノベーションやクリーンエネルギーソリューションに関する豊富な経験を持つビジネス戦略に関する専門家。日米両国のフィンテック分野で起業経験を持ち、スタートアップの成長過程を積極的に支援。元McKinsey&Companyの経営コンサルタント。PICHTRのアドバイザーとして、半導体産業における日米デュアルユースの協働に貢献。ハーバード大学で応用数学の学位を取得。米日カウンシルメンバー。



### PICHTR

URL: <https://pichtr.org/>



PICHTR (The Pacific International Center for High Technology Research) は、ハワイとインド太平洋地域の経済機会の育成に焦点を当てた非営利のアクセラレーター。アクセラレーターとして39年の経験を有しており、気候変動、クリーンエネルギー、テクノロジー、ヘルスケア、災害対策、資源保護など、さまざまな分野で起業家、イノベーターを支援している。また、Climate Adaptation Collective<sup>※1</sup>や National Disaster Preparedness Training Center<sup>※2</sup>などのプロジェクトを通じて、各種社会課題に取り組むとともに、政府との契約促進やアイデア製品化支援、トレーニングやコンサルティングを提供し、地域のテクノロジーとレジリエンスの発展に貢献している



支援した起業家、イノベーター数：**587社**



ハワイおよびインド太平洋地域における支援実績：**41年**



支援した企業の資金調達額：**\$350M**



## オンライン説明会

参加申込フォーム: <https://forms.office.com/r/b1wTQGF5ef>

支援機関先（PICHTR）によるオンライン説明会を開催予定です。  
「デュアルコースとは何か」、「デュアルコースとの親和性がよくわからない」等の疑問を解消  
できる内容を予定しておりますので、お気軽にご参加ください。

※説明会の参加には申込フォームへの登録が必要です



説明会開催日時：

- ①10月11日(金) 10:30AM-11:00AM
- ②10月17日(木) 9:30AM-10:00AM



予定内容：

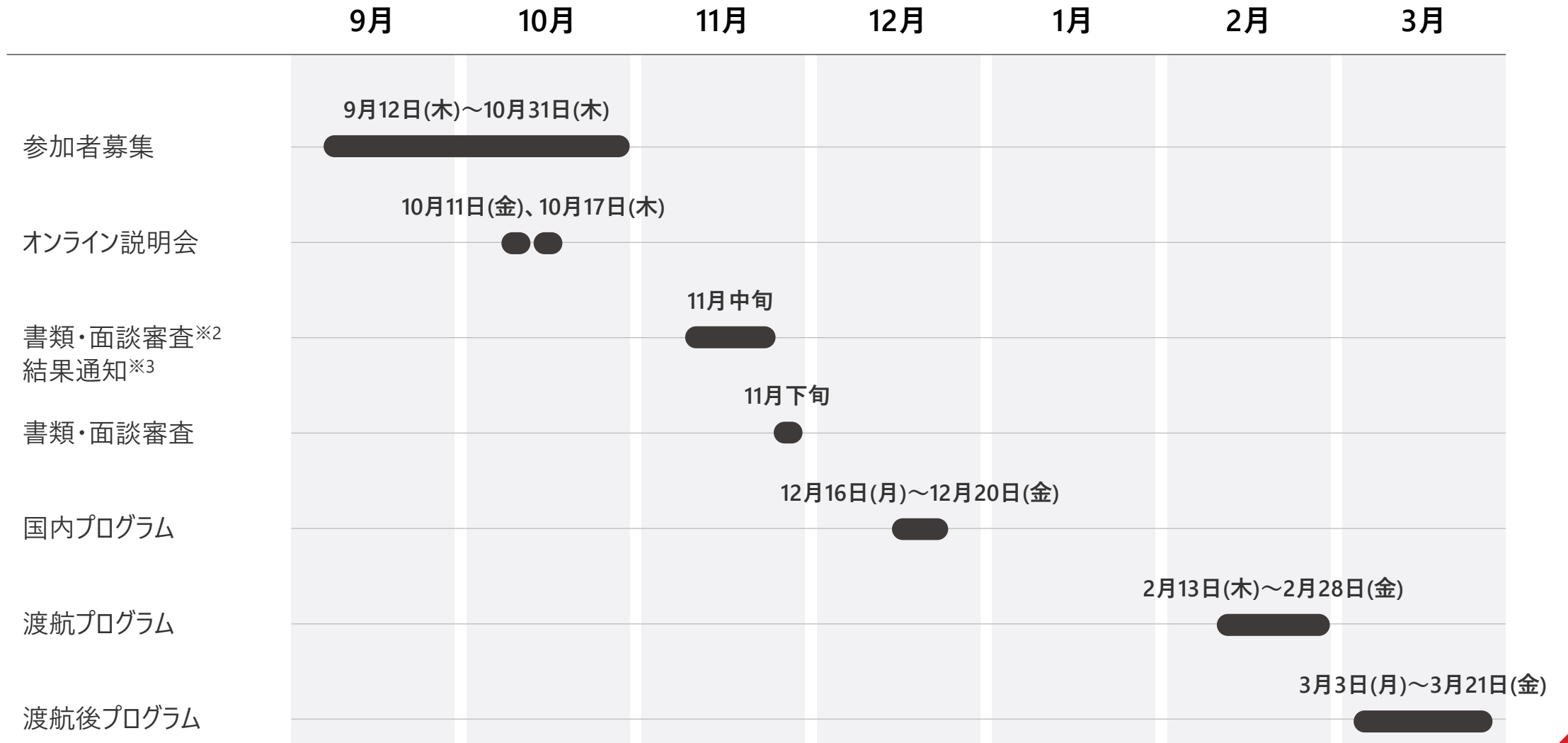
デュアルコースについて  
本コースで期待される成果 等



形式：

オンライン（Zoom）

### 03 SCHEDULE | スケジュール



※1 開催日時は、10月11日(金) 10:30AM-11:00AM、10月17日(木) 9:30AM-10:00AMを予定しています。参加をご希望の方は[こちら](#)よりお申込みください

※2 15分程度の面談をZoomにて実施します。面談審査の日程については、後日対象者にご連絡します

※3 募集-審査までの日程は延長する場合がございます。予めご了承ください

### 定員

- 全プログラム：5-12社（各社1名まで）  
（国内プログラム、渡航プログラム、渡航後プログラム）

### 主な対象

対象企業	デュアルユースとして米国やインド太平洋地域への海外展開を目指す日系スタートアップ企業
ステージ	ミドル・レイター
分野	デュアルユースの可能性のある全分野 昨年度の実績例）ドローン、繊維素材、宇宙衛星等
その他	海外展開における意思決定が可能な方（創業者・CXOクラス）がコースを通じて参加が可能なこと ビジネスレベル以上の英語力を有すること

### 応募要件

コース参加者は以下の全ての条件を満たすこと

- 日本に活動拠点のある日系スタートアップに所属するCXOクラスもしくは海外事業責任者の方  
（日系スタートアップに所属する方である限り国籍は問わない）
- 商談可能な英語力を有すること
- 潜在パートナーに提示するプロトタイプを有すること
- プログラム／コース参加後のアンケート等に協力いただけること
- 本コースが提供するサービス（オンラインメンタリング等）に参加するための設備・環境を準備可能な方

※ J-StarXは経済産業省・ジェトロが連携して行うプログラムであり、随時、フォローアップアンケートや成長過程の調査を実施します

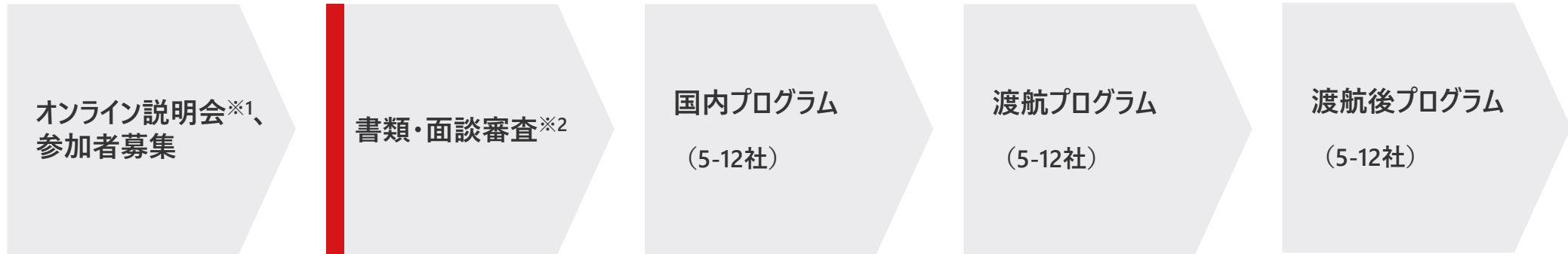
### 参加者による費用負担

- 国内移動費
- 米国渡航費（航空券）
- 海外での移動、飲食費用、通信費、VISA代、保険費などのその他発生する費用
- その他「主催者ゼロによる費用負担」以外のすべての費用

### 主催者による費用負担（現物支給）

- メンタリング等のプログラム料
- 渡航プログラム実施期間中の宿泊費

- ※ 上記は全てゼロにて手配の上、支給します。参加者に上記費用を支払うものではありません
- ※ 円安やインフレ等の状況を鑑み、来年度以降の主催者側費用負担を縮小また廃止する可能性があります



※1 10月11日(金) 10:30-11:00AM、10月17日(木) 9:30-10:00AM でオンライン説明会の開催を予定しています。参加をご希望の方は[こちら](#)よりお申込みください

※2 15分程度の面談をZoomにて実施します。面談審査の日程については、後日対象者にご連絡します

### 選考基準

- 招聘するメンターならびにジェトロがサポート可能であること
- 本コースの参加によって、国内外のスケールアップが見込まれること
- 製品やサービスに技術力や競争優位性があること
- バリュープロポジションが明確であること
- ビジネスモデルの収益性が高く、持続的な成長が見込めること
- 海外展開に適したチーム構成であること
- 本コースに対する情熱を持っていること
- 原則、他のJ-StarXプログラムにて渡航プログラムに参加していないこと等

※本コースよりも上級者向けのJ-StarXプログラムへの申し込みは可能です。重複の可否はジェトロにて判断します

## 応募フォーム

2024年10月31日(木) 23:59 (JST) 締切※1

(オンライン説明会※2の申込みは[こちら](#))

- 応募内容について、審査を行い、採択可否の通知を行います
- 書類審査とあわせて面談審査も実施いたします。面談審査の日程については、後日対象者にご連絡します
- 審査結果に対する問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください
- 別途、ピッチデッキ資料（英語）の提出が必要です  
(形式・方法等は次ページ以降参照)

※1 募集-審査までの日程は延長する場合がございます。予めご了承ください

※2 10月11日(金) 10:30AM-11:00AM、10月17日(木) 9:30AM-10:00AM でオンライン説明会の開催を予定しています。「そもそもデュアルユースとは何か」、「デュアルユースとの親和性がよくわからない」等の疑問を解消できる内容を予定しておりますので、ぜひお気軽にご参加ください

## ピッチデッキ資料の提出方法・プロセス

### Step 1

#### 資料作成

スライド（英語）作成

※原則PowerPointで作成し、  
PDF形式に変換

### Step 2

#### 格納（アップロード）

作成したピッチデッキ資料を  
ご自身のGoogle Driveにアップロード

### Step 3

#### 応募フォームへ記入

アップロードしたGoogle Driveの  
共有リンクを応募フォーム内の  
記入欄へ入力

- ※ Google Driveへの格納が難しい方は、[JHUB@jetro.go.jp](mailto:JHUB@jetro.go.jp)宛にメールにてご提出ください。その場合、メールの件名は「Global Growth for Dual-Use\_企業名\_名前」とし、本文にプログラム名、企業名、氏名を記載の上ご提出ください（名前の部分にはご自身の名前をご記載ください）



### ピッチデッキ資料作成にあたっての留意点

以下の留意点が守られていない場合は、審査対象外となる可能性がありますので、ご注意ください

#### ■ ピッチデッキ資料作成の留意点

- 右欄に示す記載内容を含む形でご作成ください
- 表紙は不要、**10ページ程度**でご作成ください
- ファイルは原則PowerPointで作成し、PDF形式に変換してご自身のGoogle Driveに格納してください  
(ファイルサイズは10MB以下)
- ファイル名は「**Global Growth for Dual-Use\_企業名\_名前.pdf**」としてください  
(名前の部分にはご自身の名前をご記載ください)
- **2024年10月31日(木) 23:59 (JST) まで\***にご提出ください

#### ■ ピッチデッキ資料に記載する内容

プロトタイプについて以下の4項目を必須項目としてスライドに記載してください。また、ご自身のお名前を1ページ目左上にご記載ください

1. 解決したい課題の内容
2. プロトタイプ/製品またはサービスの概要  
(写真や図、文章を用いて)
3. 事業の拡大戦略
4. プロトタイプにおけるアピールポイント・強み

※資料は**英語**で作成ください

※スライドのデザイン・フォーマットは問いません

1. 本コースの参加費用支援は、原則1社1名までとなります（自社負担での同行については問題ありません）
2. 必要に応じて、現地交渉先との面談などにも、メンターおよびジェトロ職員が同行する可能性があります。また、帰国後の成果把握、進捗確認への協力をお願いします
3. 本コースの選考通過後は、ジェトロ事業の紹介、成果報告のための外部公開をする場合がありますので、ご了承ください（公開内容は事前に確認を行います）
4. 参加者は、原則、他のJ-StarX対象コースにて渡航プログラムに参加していないことが必要です  
※本コースよりも上級者向けのJ-StarXプログラムへの申し込みは可能です。重複の可否はジェトロにて判断します

### 免責事項

---

[免責事項](#)をよくお読みの上、応募をお願いします

### キャンセル規定

---

如何なる理由においても、渡航日程決定後のキャンセルは認められません

キャンセル料、もしくは変更料が発生する場合は自社にて負担いただきます／キャンセル料発生日：12月1日0時以降

## 09 CONTACT | お問い合わせ



コース名      Global Growth for Dual-Use

実施機関      ジェトロ イノベーション部 / スタートアップ課

担当者        塩野、蟹江

メール         [JHUB@jetro.go.jp](mailto:JHUB@jetro.go.jp)

